

宮陵会報

Kyu-Ryo

No.79

2004・12

発行責任者
社団法人 宮陵会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
印刷所 株式会社 江森印刷所



WELCOME
HOME

- 宮陵会財政検討委員会中間報告
- 第10回ホームカミングデー開催
- 準会員 NEWS
- 本部だより
- 学士山岳会ーエルブルース山登頂
- 神大の歴史

宮陵会財政検討委員会中間報告

宮陵会財政検討委員会は、宮陵会の財政基盤確立のため、様々な角度から宮陵会財政について検討を進めてきました。この間、他主要大学にも、基本的な事項のアンケート調査を実施し、解決への糸口も探ってみました。しかし、本会の収入構造はそのほとんどが会費収入であり、その内、準会員費収入に大きく依存する状態が続いています。従って、これを少しでも改善するとすれば、事業の見直しによる経費削減か、会費の値上げによる収入増をはかるしかないと考えられます。

その一、宮陵会財政推計(平成二〇年度までの将来収支シミュレーション)によれば、平成一七年度から宮陵会の財政は赤字になる予定であり、以降、在学生に対する奨学支援事業を据え置いても、赤字幅は増大する傾向にあります。支部助成費の見直しや活動費の削減により支出を抑制していくとしても、正会員の増加に伴う諸経費の増加、また学生のための各種奨学制度の維持、発展には不足していくのが現状です。

その二、収入については、会費の変遷別表②の通り、過去八、一〇年に一度は会費の改定をしましたが、昭和五九年から、実に二〇年間にわたって会費の改定をしておりません。会員数の増加、運用益も見込めない現状、終身会費制の存否も含め、その検討の時期に来ており、将来を見据えた改定が必要となつていきます。特に、終身会費制の問題は、宮陵会活動の過去一〇年間の一人あたりの会員対象事業費を算出してみると(別表①)、一人年間平均約二、四四八円かかっています。すると従来の終身会費(三〇〇、〇〇〇円)は、約一二年で消化してしまうという結果になります。

その三、宮陵会は、本来神奈川大学校友会として、全卒業生が会員である同窓会組織です。これは、卒業生から拠出された会費が、本来同窓生の組織化のための情報管理(住所

等のメンテナンス)、広報活動、卒業生同志の交流、親睦活動等に、また母校神奈川大学への寄与、学生に対する奨学金の給付・貸与、

終身会員数推移(別表①)

科目	年度										
	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年(予算)
収入合計	168,621,638	150,824,530	156,828,460	165,243,425	145,515,817	168,852,443	181,490,483	189,069,400	190,051,567	161,901,697	162,879,264
① 支出額	101,905,362	92,834,055	96,877,398	117,160,216	88,299,616	138,341,282	141,105,235	146,953,303	139,468,833	95,982,842	137,479,264
② 積立金	50,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000	28,000,000				3,349,920	359,591	20,400,000
① + ② 合計	151,905,362	122,834,055	126,877,398	147,160,216	116,299,616	138,341,282	141,105,235	146,953,303	142,818,753	96,342,433	157,879,264
(貸与)奨学金運用特別会計繰出金					5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
次年度繰越金	16,716,276	27,990,475	29,951,062	18,083,209	24,216,201	25,511,161	35,385,248	37,116,097	42,232,814	60,559,264	0
合計	168,621,638	150,824,530	156,828,460	165,243,425	145,515,817	168,852,443	181,490,483	189,069,400	190,051,567	161,901,697	162,879,264
新卒業生数(終身会費納入者)	3,260	3,840	3,921	4,552	3,935	3,910	4,092	4,168	3,983	3,631	3,688
既卒業生数(終身会費納入者)	35,745	39,005	42,845	46,766	51,318	55,253	59,163	63,255	67,423	71,406	75,037
合計	39,005	42,845	46,766	51,318	55,253	59,163	63,255	67,423	71,406	75,037	78,725
正会員対象充当額(1名)	3,895	2,867	2,713	2,868	2,105	2,338	2,231	2,180	2,000	1,284	2,005
積立金残高	336,000,000	366,000,000	396,000,000	426,000,000	454,000,000	434,000,000	399,000,000	364,000,000	332,349,920	327,709,511	348,109,511

在學生への支援、卒業生と在學生の交流等に使用されなければなりません。しかし、宮陵会は社団法人のため、民法上、公益法人として、様々な制約があり、今日まで文科省の指導のもと公益法人の管理運営に従った活動と経理処理を行っています。

そこで、卒業生が大学にとって貴重な財産であり、私学の将来にとってその財産が大学運営のための重要な資源であると考えられるならば、大学自らの責任と費用をもって、そのネットワークを維持していくことも求められています。

いま、急ピッチで大学改革を進めている現状に呼応して、宮陵会も今何を重点において活動していくのか、本来大学にお願いする活動は何か等、さまざまな事業主体を含めて見直す時期にきているのではないかと考えます。さらに、本来の同窓活動を活発にするためにも、校友会が、社団法人のまま継続した方がよいのか否か、法人の形態も含めて抜本的な改革の検討が求められているのではないかと考えます。

そこで、今後事業活動についても並行して議論をしていかなければなりません。先ず宮陵会の財政が安定し、収入の道を確保するために、会費改定を行い、会員各位のご理解で財政基盤の確立をはからねばなりません。そこで、平成一八年度会費改定を目標として、以下の試案を提案し、会員各位のご意見をいただきたいと思います。

会費の変遷(別表②)

年月日	入会金	年会費	終身会費	準会員費	備考
横浜専門学校 昭12.6	1	1	年額の20倍以上を一時に払込の時	終身会費納付 20	
社団法人 宮陵会 昭和24.11.19認可	200	*300		200	*会報費 200(会費の他に)
昭38.6.21		10年会費 500 5,000	10,000		*会報費含む
神奈川大学同窓会 昭和44.12.14制定	1,000	5年会費 1,000 4,000 (一時に納入)	15,000 年会費が5年以内に終身会費の額に達した時は終身会費	入会金 1,000 在学期間を通じて学部 2,000 短期大学部 1,000	
昭和48.3.19改正	1,000	5年会費 1,000 4,000	15,000	(昭53年3月まで) 入会金 1,000 準会員費 2,000 終身会費切替納付金 3,000 計 6,000 学部 1,000 2,000 3,000 短大 1,000 1,000 3,000 5,000 入学: 49年4月から52年4月まで 卒業: 53年3月から56年3月まで (昭53年4月入学生より) 入学時 終身会費切替納付金 計 5,000 5,000 10,000 入学時のみ委託徴収	
昭和51.11.27改正 (59.3.31まで適用)	2,000		20,000 一時に納付した時は入会金を免除	(委託徴収58年4月入学生より) 入学時 2年次から4年次 計 学部 10,000 15,000(各年5,000) 25,000 短大 10,000 2年次 5,000 卒業次 10,000 25,000	
昭和58.3.13改正 (59.4.1より適用)			30,000		
神奈川大学校友会 昭和59.3.18全面改正		3,000	30,000		
社団法人 宮陵会 (尚宮陵会と神奈川大学校友会の統合) 平成元.4.1		3,000	30,000		

使用されなければなりません。しかし、宮陵会は社団法人のため、民法上、公益法人として、様々な制約があり、今日まで文科省の指導のもと公益法人の管理運営に従った活動と経理処理を行っています。

そこで、卒業生が大学にとって貴重な財産であり、私学の将来にとってその財産が大学運営のための重要な資源であると考えられるならば、大学自らの責任と費用をもって、そのネットワークを維持していくことも求められています。

いま、急ピッチで大学改革を進めている現状に呼応して、宮陵会も今何を重点において活動していくのか、本来大学にお願いする活動は何か等、さまざまな事業主体を含めて見直す時期にきているのではないかと考えます。さらに、本来の同窓活動を活発にするためにも、校友会が、社団法人のまま継続した方がよいのか否か、法人の形態も含めて抜本的な改革の検討が求められているのではないかと考えます。

- #### 会費改定試案
- ▼平成一八年度から
- ① 年会費 三、〇〇〇円(変更無し)
 - ② 終身基本会費(仮称三〇〇、〇〇〇円 (一括納入)年会費二〇年分相当(新設))
 - ③ 維持会費(仮称「新設」) 年二、〇〇〇円
 - 五年維持会費 一〇、〇〇〇円
 - 一〇年維持会費 二〇、〇〇〇円
 - 一五年維持会費 三〇、〇〇〇円
 - ④ 新終身会費 九〇、〇〇〇円
 - ⑤ 準会員費 二五、〇〇〇円(変更無し)
 - ⑥ 新たに会費を納入される正会員は、年会費かまたは終身基本会費のどちらかを選択するものとします。終身基本会費を選択した

時は、納入後二〇年を経過した時点で、維持会費を納入するものとします。

▼経過措置

(ii) 改定前の終身会費をご納入頂いている会員で、納入後二〇年を経過した方

この方は、終身会費を終身基本会費に切り替えさせて頂き、新たに維持会費を納入して下さいますようお願いいたします。但し、七七歳以上の方は、維持会費は不要です。

(iii) 改定前の終身会費をご納入頂いている会員で、納入後二〇年未満の方

この方は、終身会費を終身基本会費に切り替えさせて頂き、納入後二〇年を経過した時点で、維持会費を納入して下さいますようお願いいたします。但し、その時点で七七歳以上の方は不要です。

(iv) 改定前に年会費を継続して二〇年以上納めた方

この方は、終身基本会費を納入したものと取り扱い、以後は維持会費を納入して頂くようお願いいたします。

(v) 終身基本会費に維持会費を累積することができます。

従来の(旧)終身会費にプラス維持会費等を納めた額が九〇,〇〇〇円に達した時は、(新)終身会費を納入したものとみなし、以降維持会費の納入は必要としません。

(vi) 正会員が会費納入後二〇年を経過した後は維持会費を納入して頂くこととなりますので、本部から個々に通知をいたしますので維持会費の納入をお願い申し上げます。

※維持会費は、事務の手續上、原則として五年一〇,〇〇〇円、一〇年二〇,〇〇〇円、一五年三〇,〇〇〇円とします。

以上の会費改定(案)について、来年(平成一七年)五月末日までに、会員の意見、提案を本部事務局までお寄せください。

その後、手続きとしては、寄せられた意見を参考に、再度検討して改定原案を作成し、一七年度中に、それを公表し理事會・代議員會・總會の議を経て一八年度から実施できるような方向で進めていきたいと考えております。

詳細については本委員会へお問い合わせください。

第10回 神奈川大学 ホームカミングデー開催される

去る十月十七日(日)横浜キャンパス体育館において「第10回神奈川大学ホームカミングデー」が開催されました。

母校と卒業生の絆を深め、旧師や朋友との語りを通じヒューマンネットワークを広げていただくことを目的として、学校法人神奈川大学と社団法人宮陵会の協賛により平成六年から始まったこの催しも十回目となりました。

今回は卒業後五十年以上(昭和二十九年三月以前)、三十五年(昭和四十四年三月)、二十年(昭和五十九年三月)、十年(平成六年三月)、一年(平成十六年三月)の校友を中心にご案内いたしました。その他の卒業生の方々の参加も多く、会場は熱気に包まれ大

いに賑わいました。

ホームカミングデーが十月の恒例行事として定着するにともない、これを機会にゼミナールや研究室などの集まりが大学の教室を使用して開催されるようになり、泊りがけで旧交を温めたりという光景も見受けられ、まさにヒューマンネットワークの広がりに大きな役割を果たす貴重な催しとして定着してきただと言えるところではないでしょうか。

当日の式典は、卒業生であるテレビ山梨のキャスター大西かやさんの司会により進められ、学校法人神奈川大学大野泰理事長からの歓迎の挨拶、神奈川大学山火正則学長からの大学の現況と学生の活躍についての報告の後、

昭和四十四年三月経済学部経済学科卒業の川六郎氏から参加者を代表して謝辞が述べられました。鏡開きに続き社団法人宮陵会渡辺徳平会長の発声により乾杯が行われ、ウェルカムパーティーでは歓談の輪が広がるなか、全日本吹奏楽コンクールで通算十八回金賞を受賞し、日本の大学アマチュアバンドとしては初めて、米國・ミッドウエスト・バンドクリニクに招聘される吹奏楽部による演奏や、野毛大道芸デビット・ラムゼイさんのマジカル・バラエティーエンターテイメントショーの披露、そして恒例の抽選会、応援指導部による校歌などが披露され、会場はたいへん盛り上がりました。

ホームカミングデーは毎年十月第三日曜日に開催することとなっております。来年も今年を更に上回る大勢の方々がキャンパスに足を運んでくださいますよう、心からお待ちしております。

… 参加者からのひとこと …

- 古賀 義明 様 (昭和23年専機卒)
- 高添 満 様 (昭和24年専経卒)



小学校時代の同級生です。昔からの友人です。今も大学に近い日吉と栗田谷に住んでいます。

私たちの在学中の思い出といえば、やはり戦争と切り離しては考えられません。

ね。今日の吹奏楽部のみなさんが演奏していた行進曲を聴いて、当時の時代背景などを思い出し、大変なつかしく思いました。当時はJR東神奈川駅近くにアメリカ進駐軍があり、そこで英語を習いました。

また、当時の校舎はもちろん木造で、現在のキャンパスの様子とは全く異なっていました。本日の展示スペースには、当時専攻していた機械分野の展示品なども興味深く拝見しました。

- 長嶋 悦子 様 (昭和59年卒)
- 吉川 雅美 様 (")

在学中は、「春夏秋冬」という旅行サークルの同期でした。2人とも住まいが大磯と静岡で離れているのでなかなか会うことができません。年に一度会えば良いほうです。

今回は、大学から友人同士2人で来られる人に鏡割りをしてほしいとの依頼があり、私たち2人でお引き受けることになりました。思いもかけなかったこのような機会に大変緊張しました。

久しぶりにキャンパスをみて、すっかりきれいに変わってしまっていて驚きました。図書館くらいしか当時の面影はありませんね。

今日はお互い久しぶりに横浜まで出て来たので、ゆっくり楽しんでいきたいと思います。

- 出竹 真央 様 (平成16年卒)

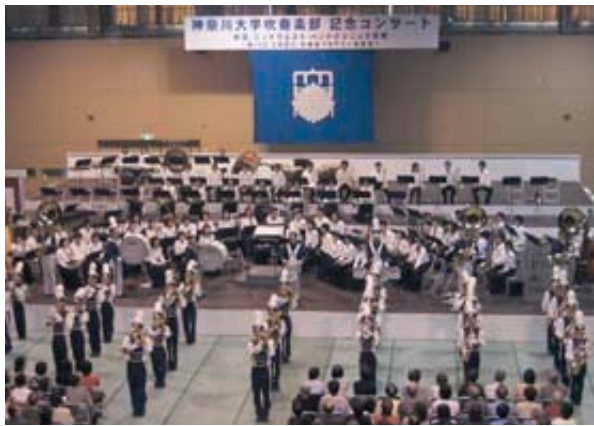
今日は、私が在学中に所属していた吹奏楽部の演奏があるということで、とても楽しみにして来ました。

後輩たちがステージに登場してきた時には、食事をとる手を止めて、ついつい後輩たちの演奏に聴き入ってしまいました。これからも良い演奏をするために、後輩たちには更に頑張ってもらいたいですね。

吹奏楽部

「ミッドウエスト・バンドクリニック
招聘記念コンサート」開催

準会員NEWS



11月3日、横浜キャンパス体育館にて「ミッドウエスト・バンドクリニック招聘記念コンサート」が行われました。今回のコンサートは12月にアメリカのシカゴにて行われる「ミッドウエスト・バンドクリニック」にアマチュアバンドとして初めて招聘されたことを記念して、大学主催により開催されました。当日は日頃、私達吹奏楽部の為にあしめない応援、協力をしてくださっている沢山の皆様にご来場いただきました。音楽を通じて少しでも私達の感謝の気持ちが皆様に伝わっていれば光栄です。

ミッドウエスト・バンドクリニックは、吹奏楽における「音楽教育、音楽産業、バンド」がひとつになり、吹奏楽の発展・振興させていくための協議会です。毎年世界中から、13,000人を超える参加者が集まって行われている世界最大規模の大イベントで、1946年から開始され、今年で第58回目の大会となります。この大会に出演するには、厳しい審査を通過し、複数の著名なバンド指導者から推薦を受けなければな

りません。そのような大会に出演できることを部員一同大変光栄に思い、またとても楽しみにしています。

昨年の世界吹奏楽大会に引き続き、日本の代表として精一杯よい演奏をし、そしてこの得難い体験を今後活かして行きたいと思っていますので、皆様どうぞ応援のほど宜しくお願い致します。

また、2005年1月7日に横浜みなとみらいホールにて第40回定期演奏会を行います。皆様のご来場をお待ちしております。

(吹奏楽部 自治行政4年 西海 康子)

硬式野球部

三季連続となる秋季リーグ戦優勝!! 狙え四連覇!!

この度、硬式野球部は前回、前々回に引き続きまして三季連続となる秋季リーグ戦優勝を果たすことが出来ました。

春のリーグ戦・選手権大会を終え大半の四年生は神大硬式野球部で過ごした四年間に終わりを告げ、巣立っていきました。チームの軸を担っていた四年生だけに、戦力ダウンは否定できない状況でしたがすぐに新体制が始動しました。それまで出場機会の少なかった下級生にも出場機会が増えたことで、ポジション争いがチーム力の底上げに繋がり、上下も関係なく自由に言い合える雰囲気の良いチームが出来上がりました。経験の少なさを若さと勢いでカバーし、挑んだ初陣でしたので優勝という結果は新チームに自信を与えたとても価値のあるものでした。一年おきの出場権となる神宮大会には今年も出場がなりませんでしたが、若いチームでの初の公式戦優勝で勢いづいた私達は、次は四連覇を狙い更なる精進をして参ります。ご声援の程、宜しくお願い致します。(硬式野球部マネージャー 貿易3年 村松 泉美)



平塚軟式野球部

第25回東日本軟式野球大会 ベスト4入り



我々、平塚軟式野球部は2004年度第25回東日本軟式野球大会に出場することができました。また、ベスト4という結果も残せ大変良い経験をいたしました。現在平塚軟式野球部は部員15名と多くありませんが、まとまりがあり元気のよいチームです。リーグ戦では強敵相手に大変苦戦を強いられましたが、チーム一丸となり2位という結果を残し東日本大会の出場権を手に入れました。大会では、一回戦から優勝候補の作新学院大学を相手に2対0と完封勝ち。二回戦は札幌大学を相手に3対1と勝利。続く準々決勝は東京大学と戦い、3対1と勝利。準決勝の東北学院戦では、8回まで0対0と熱戦を繰り広げたものの、惜しくも終盤に3点を取られそのまま0対3と、惜敗いたしました。優勝は逃しましたが、来年の全国大会出場に向けてすでに前を向いています。これからも先輩方の伝統を継承し、日々精進してまいりますので今後ともよろしくお願いたします。

(平塚軟式野球部主将 国際経営2年 早川 侑介)

陸上競技部

第36回全日本大学駅伝7位 シード権獲得ならず

我々陸上競技部駅伝ブロックは、11月7日に行われた第36回全日本大学駅伝において7位という結果となりました。出雲駅伝の雪辱を期して臨んだ大会でしたが、シード権を得ることができず大変悔しい思いをしております。6月の全日本大学駅伝予選会を1位通過しましたが、本選では40秒差でシード権を逃し、まだ力が足りないことを実感しました。しかしそれと同時に、上位で戦っていくための手応えを感じ、足りない面を補って、私たちの最終目標である箱根駅伝で十分に力を出し切ろうという決意であります。勝負の厳しさに耐えられるよう、もう一度部員全員で日々の生活から集中していききたいと思います。また、部員一人一人自分がチームの為に何が出来るのか考え、責任を持った行動をして、更なる努力を重ねていききたいと思います。

出雲駅伝・全日本大学駅伝では、神奈川から離れているOB・OGの方々や近くにいらっしゃる先輩方、他にも本当にたくさんの方々に応援をして頂きました。箱根駅伝では今まで以上に感謝の気持ちをもって戦っていききたいと思います。今後ともご声援宜しくお願い致します。



(陸上競技部マネージャー 法律4年 星野 由希子)

2004 UCI BMX 世界選手権オランダ大会(専用自転車障害競技)

17歳以上青年の部7位入賞 黒田 淳(国際経営2年) 7月23日～25日



世界選手権での黒田くん(No.220)

今回が5回目の世界戦でした。毎年準決勝落ちだったのですが、やっと決勝のスタートゲートに立つ事が出来ました。これには、一ヶ月前からアメリカに渡り、レースをし、忘れていた海外での雰囲気や色々な勘などを取り戻したことも大きいと思います。

大会では僕のクラスには255人のエントリーがありました。決勝までは、8回走りました。そしてやっと決勝のゲートへ立つ事が出来ました。いつも準決勝で落ちていたので、準決勝はとても緊張しました。そして決勝へ行けた瞬間、涙が出そうなくらい自分で感動しました。いざ、決勝のゲートに立ってみると緊張も何もなく、これが決勝のゲートかと感動しました。凄く冷静な自分がいました。もし、決勝に残ることが当たり前になってくると、また決勝での緊張感も出てくるのでしょうか。今回6週間海外遠征をしましたが、今までとは比べものにならないくらい収穫がありました。また来年も行きたいと思いますが、4年後の北京オリンピックに向けて一歩一歩進んで行きたいと思っています。(国際経営2年 黒田 淳)

サッカー部創部以来初!

関東リーグ昇格を決める!!

来季、関東大学サッカーリーグに昇格するための第37回関東大学サッカー大会が、2004年11月3・7・21日の3日間、千葉県で行われました。

この大会では、関東の各都県代表16チームが4チーム・4ブロックに分かれ、各ブロックの上位2チームが関東2部リーグへ昇格します。

今季、神奈川県大学サッカーリーグを制覇したサッカー部は、神奈川県の第一代表としてこの大会に挑みました。

第一戦の平成国際大学戦では、神奈川大学が終始試合をリードし3-0で勝利。第一戦勝利で次の試合で昇格を決めたかった神奈川大学ではありませんが、第二戦目の中央学院大学に苦戦し0-0の引き分けに。勝負を持ち越した第三戦目の対戦相手は、既に昇格を決めていた東洋大学。互いに一進一退の攻防を続けましたが引き分けに終わりました。結果、1勝2分でブロック2位となり体育会サッカー部創部以来初となる関東リーグへの昇格を決めました。

関東大学サッカーリーグは、全国の大学の中でも強豪のリーグです。

来年以降、本学のサッカー部がどのような飛躍を果たすか、今から楽しみです。



	D	東洋	神奈川	平成国際	中央学院	勝	分	負	得点	失点	得失点	勝点
1	東洋大		△0-0	○3-0	○3-1	2	1	0	6	1	5	7
2	神奈川大	△0-0		○3-0	△0-0	1	2	0	3	0	3	5
3	平成国際大	×0-3	×0-3		○4-3	1	0	1	4	9	-5	3
4	中央学院大	×1-3	△0-0	×3-4		0	1	1	4	7	-3	1

神大フェスタ 10月10・11日 “すご!ろく”



先日十月十日、十一日の二日間に渡って第六回神大フェスタを開催いたしました。開催前日に台風が上陸し、準備を進めることができなかつたにもかかわらず、神大フェスタへ参加してくれた神大生や大学の協力の下、ほぼ予定時刻で開催することができました。当日も残念ながら晴天には恵まれず、一部企画を変更・中止にしながらも、本年度も昨年を越える約一万三千人もの多くの方々にご来場いただき成功を収めることができました。

当日、外では飲食店やフリーマーケット、講堂内と中庭では多くの課外活動団体が日頃の活動成果の発表を行いました。中庭ステージではその他に、宮陵会準会員委員会主催の「わんこそば大会」や、毎年恒例の「神大スター決定戦」が行われ、予選をくぐり抜けた八団体が神大スターの座を競って、精一杯素晴らしい演技を行いました。テーマの「すご!ろく」に因んでサイコロを振りながら横浜キャンパスを一周する「すご!ろく」や、1号館前で本物のDJが実況する中、催された「それいけ!三輪車」は老若男女様々な方々にお楽しみいただきました。また、入試センター

による受験相談会も好評でした。今年も神大生をはじめ、地域住民の皆様にも数多くご来場いただくことができました。来年度も神大フェスタは多くの方々に楽しんでいただける神大フェスタを目指して活動していきたいと思えます。

(神大フェスタ実行委員会委員長 原田 修司)

平塚祭 10月30-31日 “翼~帰るべき家へ”



一〇月三〇日(土)・三一日(日)の両日、第一六回「平塚祭」が湘南ひらつかキャンパスにおいて開催されました。初日雨、二日目曇りと、あいにくの空模様でしたが、延べ約一五〇〇人の入場者がありました。本年度のテーマは「翼~帰るべき家へ」。

平塚祭実行委員会による本部企画として、芸能人によるお笑いライブ(出演者:向井成一郎、号泣、前田健、タイムマシン三号など)、オリンピック年に掛けた「平塚祭オリンピック」(「早シリーズ」、子供達を対象とした「スタンプリリー」)、「ペットボトルロケット」など、また一般企画として、本学課外活動団体を中心とした各種ライブ、模擬店、研究発表会には多くの参加者が集いました。

また、その他の行事として「父母懇談会(三〇日)」「ホームカミングデー(三一日)」「外国語スピーチ・フェスティバル(三二日)」「オーブンラボ(理学部研究室公開)」「入試相談会(共に両日)」も好評を博しました。

特に、本年度装いも新たに復活した「外国語スピーチ・フェスティバル」は、日ごろの研究成果を発表する場として、今後多くの学生参加が期待されます。

(平塚祭実行委員長 吉田 祥子)

交通安全キャラバン隊 自動車工学研究部

私たち自動車工学研究部では、日頃行っている車輛整備や競技への参加以外に社会貢献の出来る活動として夏休みの一ヶ月間、内閣府委託の社団法人交通安全母の会による交通安全キャラバン隊のドライバーをしてまいりました。この活動は全国47都道府県をいくつかのグループに分けて、内閣官房長官からの交通安全対策メッセージをそれぞれ県知事などの代表者に伝え、街頭での広報活動をしながら全国をまわる内容となっています。また、県によっては幼稚園児や小・中学生に対して交通安全意識を持ってもらうためのイベントも行われました。



私たちは千葉を皮切りに、埼玉、茨城、北海道、栃木の地域において活動を行いました。この活動を通して私たちは、シートベルトの着用や携帯電話の運転中における使用、歩行者・運

転者の交通マナーなど日常の交通社会にひそむ小さな行いの一つが深刻な問題であると考えさせられました。また、交通事故対策による死傷者の減少のような交通安全対策が確かに実を結んでいることを実感すると同時に高齢者増加による交通事故の増加、そして年々拡大していく交通量の問題などの大きな課題があることも感じさせられました。

この体験をもとに私たちは、部内での安全意識の向上に努めると同時に交通社会の一員である自覚を持ち、まわりの手本となるような運転を心がけていきたいと思えます。

また、各県ごとに事故の起こり方や交通マナー、道路状況が大きく異なっていると感じましたのでドライバーの皆さんも旅行などに行く際は早まる気持ちを抑えて交通安全に気を付けましょう。

(自動車工学研究部 機械工3年 丸山 正智・工藤 崇裕)

「神大スポーツ・文化振興会」賛助金

平成16年3月1日より9月30日までの申込金543,025円を神奈川大学へ10月12日に執行しました。各クラブの金額は下記のとおりです。尚、賛助者芳名は会誌に掲載します。

Table with 3 columns: クラブ名, 件数, 金額. Lists various sports clubs and their respective numbers of members and total donation amounts.

「神大スポーツ・文化振興会」賛助金は、常時受付けております。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

振込先(加入者 神大スポーツ振興会 社団法人 宮陵会) 郵便振替口座 00270-7-86677

神奈川大学校友VISAカード 新規協力店 ミサワリゾート サービス適用店舗・施設のご紹介

- ①R&Sホテル 予約センター 03-5302-9174
②330ホテル・生命の森リゾート・ゴルフ場 下記アドレスでご確認ください。
http://www.misawa-resort.co.jp/linkpage/7650_b.html

年会費 3,000円
終身会費 30,000円(一括納入)
終身会費を納入された方は年会費は不要です。
郵便振替口座 00260-6-9751
口座名 社団法人 宮陵会
(注)卒業年月・学科をご記入ください。
払込についてのお問い合わせは事務局にお願い致します。

会費の振込みに

現住所等の変更連絡について

現住所・勤務先・電話番号等に変わりがあった場合は、はがき又は、FAXにて(社)宮陵会事務局までご連絡をお願いします。
FAX (045) 413-0791

◆本部だより◆

【新支部紹介】

静岡県中部支部
支部長 吉村 安巨(43応化)
連絡先 〒421-221 静岡市牧ヶ谷九五三
電話 ○五四-二七八-七六二九

【新支部長紹介】

神大バスケットボール部OB会支部
支部長 船渡 幸彦(37経)
連絡先 〒272-0825 市川市須和田
電話 ○四七-三七五-一三六〇九

ご結婚おめでとうございます
次の方から結婚のご報告がありました

16・7・7 大木(旧姓鈴木)真貴子 平12英
神奈川大学平塚就職課

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

Obituary notice table listing names (野沢浩, 井上昭治, etc.), birth/death dates, and family members.

Table listing names, birth/death dates, and family members for another set of obituaries.

Table listing names, birth/death dates, and family members for a third set of obituaries.

Table listing names, birth/death dates, and family members for a fourth set of obituaries.

ヨーロッパ大陸最高峰 エルブルース (五六四二m) 遠征登山隊報告

神奈川大学学士山岳会支部

アコンカグア遠征から早一年半、セブンサミッツ第二目標であるヨーロッパ大陸最高峰、ロシアコーカサス山脈のエルブルース (五六四二m) 遠征を私他三名の宮陵会員、現役二名の総勢六名で組織し、去る八月七日 (土) 正午のアエロフロートにて成田空港を出発し、同日午後五時過ぎ首都モスクワに降り立ち、翌八日黒海とカスピ海に挟まれたコーカサスのミン・ヴォディ空港へ。ここから地平線まで広がるトウモロコシやヒマワリ畑の真中を

真一文字にチャーター車を駆って約四時間、長閑なスキーリゾート兼登山基地アザウ村到着。突然の雷鳴、暗雲湧きあがり雷雨に迎えられるので入山でした。翌九日はエルブルース峰対面に聳える三、五〇〇mのチエゲツト山にハイキングで高所への順応を整えながら色とりどりの高山植物と戯れました。

八月十日、ゴンドラとリフトを乗り継いで、高度四、一〇〇mの十一番小屋迄スキー、雪

心をかきたてることを望んで世界地図が描かれたのである。このホールはマップホールと呼ばれるようになった。この年一月一日、米田学長は、創立三七周年記念式典の学長式辞のなかで初めて前々年の一月「本学の建学精神の真髓解明につき種々高見を拝聴いたしたく」と召集した教務委員会で検討し、まとめた創立精神「質実剛健 積極進取」の意味を述べた。この日から創立精神を同じ言葉で入学式や記念式典で述べるようになる。この時期は米田先生にとって大学経営の絶頂期であり、教学面の充実とともに施設面も急激に拡充していった。教学面では一九六五(昭和四〇)年の法経学部の法学部と経済学部を分離独立、外国語学部の新設と一九六七年の法経済、工学部に長年の懸案事項であった大学院を設置した。施設面では、一九六四(昭和三九)年の七号館の竣工に続いて一九六五年九月の一〇号館、十一月の八号館、そして翌一九六六(昭和四一)年六月には九号館が竣工、一九六七(昭和四二)年一月には一一号館、三月には体育館、六月には一二号館が竣工、と

上歩行で高度順応し、翌十一日は昼過ぎにベースキャンプをガラバシ小屋に移し、午後はパスツコフの岩(高度四、七〇〇m)まで高度順応に向かいました。が、登行するに従い雪まじりから強風雪に急変、気温も急降下、四、五六〇m付近まで到達しましたが、足下・頭上に走る雷閃光にホウホウの体でガラバシ小屋に戻りました。

八月十二日、十三日は小屋で休養し、アタックに備え鋭気を養いました。そして十四日、午前二時起床、三時二十分出発、雪上車でパスツコフの岩下部まで行き、ここから東峰五、〇〇〇mまで直登、更にトラバースで東西峰鞍部へと辿ること四ピッチ、ホッと一息大休止、喉を潤しキャンディーとチョコで栄養補給。全員ハーネスを着けて西峰への雪壁を登り始め、三十七、八度の胸突

神大の歴史 (21)

八号館のマップホール

創立者米田吉盛先生が最も大学経営に力を注いでいた一九六五(昭和四〇)年一月、延べ面積八、〇一六㎡の六階建て八号館が竣工した。そこには二階ホール(二階三階吹き抜け)の壁面に世界地図を描いた大壁画が完成、そして屋上には大時計塔が設置された。二階ホールに描かれた三階通しの大壁画は高さ六・二m、幅一・二mという大きなもので一三色のガラスのモザイクをあしらった世界地図である。本学は国際港都横浜にあり、教育方針として質実剛健積極進取をうたい、着実有能にして国際感覚に富む青年を育成することを目的としている。校歌にも「世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 世界は呼ぶ」われら神奈川大学」と世界に雄飛する心意気が謳われている。このことからこのホールに出入りする学生たちがこの壁画に対し雄大な

次々と校舎が竣工し大学の景観は一変した。そして一九六八年には計画の最後で米田記念館ともいべき大講堂の竣工が控えていた。しかし、一九六八(昭和四三)年一月から学園紛争が勃発、米田先生は三月に学長を九月に理事長を辞任、大学運営から遠ざかることになる。八号館のマップホールは米田先生が大学に残した象徴的なホールである。(S)



「竣工間もないマップホール」1966(昭和41)年



▲登山基地のガラバシ小屋で記念撮影(後ろエルブルース峰)



▶エルブルース頂上で応援歌を大合唱

き八丁を二ピッチで稜線に飛出し、緩やかな尾根を辿って午前十時、念願のエルブルース山頂に到達、全員で神大応援歌を大合唱しました。

十六日未明、往路をモスクワに戻り、クレムリンや市内観光を楽しんで、マツターホルン登攀に向う田中、小笠原両副隊長をホテルに送り、我々四名は十日間の思い出を胸に暮れなすむロシアに別れを告げました。

弱小隊、乏しい財政下の山岳部ですが「質実剛健 積極進取」の気概は満身に漲り、諸先輩方のご支援により一歩一歩「大きな夢へのステップ」を歩める喜びを噛み締めている次第です。皆々様のご支援に深く深く感謝申し上げます。

尚、十一月には第三回遠征隊をオーストラリア大陸コジウスコ峰へ、来年はアフリカ大陸キリマンジエロ峰に挑戦します。今後ともご支援宜しくお願い致します。

Information

神奈川大学のあゆみを概観した神奈川大学史のホームページ <http://archives.kanagawa-u.ac.jp/> が神奈川大学の公式ホームページにリンクされました。ご意見を左記E-mail までお寄せください。 archives@kanagawa-u.ac.jp